そう・らいおんぐみだより

6月号

5歳児

ねらい

◎友達と思いや考えを伝え合いながら、一緒に遊びを進める楽しさを味わう。
◎身近な用具や素材の特性を生かして、試したり工夫したりして遊ぶことを楽しむ。
◎梅雨期の生活の仕方を知り、身近な生き物や栽培物に関心をもつ。

内容

【健康】
・戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ。（砂場、泥団子づくり、色水遊び等）
・雨の日の歩き方や雨具の始末の仕方を身に付ける。

【人間関係】
・保育者や友達と一緒に身近な遊具や用具で遊ぶ。
・簡単なルールのある遊びをみんなで楽しむ。

自分たちで好きな遊びを進めてみよう！

【環境】
・梅雨期の様々な事象に気付いたり、保育者や友達と共有して楽しんだりする。
・身近な飼育物、自然物、夏野菜等の栽培物の様子や生長に関心をもち、観察したり調べたりする。

興味をもったことを本や図鑑で調べてみよう。

【言葉】
・感じたことや思ったことを友達に伝えたり、相手の話を聞こうとしたりする。

【表現】
・様々な素材と用具を使って、描いたり、作ったりすることを楽しむ。
・友達と一緒に体操を楽しむ。
体　操：ダジャレを言うのはだれじゃ　かえるのたいそう　等

泥んこ遊びをしたよ！！

・今月から泥んこ遊びが始まりました。子どもたちは「ダムを作りたい！」「お山作ってトンネル作ろう」と楽しむ姿があります。友達と協力をして遊ぶ姿があり（協同性）、お互いにアイディアを出し合い工夫をして遊ぶ姿が多く見られています（言葉による伝え合い）。完成したダムに水を流すと、「ちゃんと流れてる」と子どもたちは達成感や喜びを感じているようです。

冷たくて気持ちいいよ

水を流すー！

運動遊び楽しい♪♪

・えっぱら先生に会うのを楽しみにしている子どもたちは、「今日はどんな遊びかな？」と期待感をもち参加をしています。自信満々に「僕できるよ！」「先生見ててね！」と前転や後転、マットの山を登ったりする姿がみられます（健康な心と体）。「できるかな…」と少し不安そうな表情の子も、えっぱら先生の「足の近くに手をついて～おへそ見て～」というリズミカルな声に勇気をもらって挑戦しています。くるん！と体が回ると「できた！」と、とても嬉しそうです。何度も繰り返し遊んでいくうちに、自分なりにコツをつかみ、自信につながっていると感じます（自立心）。生活の中でも運動遊びを取り入れていきたいと思います。

手をついて…

先生見ててね！